

上田中央地域協議会へ諮問がありました

平成30年12月12日に開催された上田中央地域協議会において、新生「上田市」建設計画の期間延長に係る諮問が、上田市からありました。諮問案件に対する審議及び答申は、地域協議会の重要な役割の一つであり、市の説明に対して活発な質疑・意見交換を行い、期間延長を了承する旨の答申をしました。



▲上田市から諮問

平成30年度「わがまち魅力アップ応援事業」の紹介

平成20年度からスタートしました「わがまち魅力アップ応援事業」は、まちづくりの主役である市民の皆さん自らが、創意工夫により地域の魅力を高め、市民の交流を促進する、自主的・主体的な取組を市が支援する事業です。



▲壮年ソフトボール神川リーグの取組

平成30年度は、上田中央地域管内で5件の事業が実施されました。団体名、事業名、事業内容については以下のとおりです。

No.	団体名	事業内容	事業年数
1	鷹匠町自治会「探訪会」	人口減少等により、地域のつながりが希薄化する中、住民へ歴史や街並みについて伝承することで、地域の価値と住民間のつながりを創出する事業。	3/3
2	小川に蛍と花の咲く小道を作る会	北常田自治会と上常田自治会の境界を流れる小川を整備し、蛍の飛び交う環境づくりをすることで、地域住民の新たな交流の場を創出し、地域コミュニティの活性化に寄与する事業。	3/3
3	神川・山本鼎の会	次世代を担う青少年等へ、まち歩き等により山本鼎の業績を伝え、地域への愛着を育むとともに成長の一助とすることを目的とした事業。	2/5
4	壮年ソフトボール神川リーグ	神川を中心とした整備（芝桜手入れ等）や合戦広場桜まつりの開催、地域行事への積極的な協力を通して、地域活性化に寄与する事業。	3/5
5	太郎山賜生会	太郎山山道において希少植物を中心とした自然観察会を実施することで、地域住民の環境意識の向上や、太郎山への愛着を高めることを目的とした事業。	1/5

上田中央地域協議会 第7期委員名簿 (50音順 敬称略)

天田かよ子	伊藤和夫	岡部由紀子	金井喜兵	川久保義夫	小林芳夫	志摩充彦	谷藤寿子	◎中澤純一	成澤秀造	羽原智夏子	樋村雅代	藤澤祐一	古川悦子	松田典子	○丸山理英子	望月尚	矢島康夫	柳沢英明	山浦美幸
-------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	------	------	--------	-----	------	------	------

◎会長 ○副会長 (任期 2020年3月31日まで)

(50音順 敬称略)

あとがき

地域の課題や上田中央地域協議会に対するご意見をお聞かせください。

いただきましたご意見は、上田中央地域協議会のなかで、地域の声として協議・検討してまいります。

【上田中央地域協議会事務局】 中央公民館 (電話22-0760 FAX22-1633)

市役所 市民参加・協働推進課 (電話75-2230 FAX22-4130)



上田中央地域協議会だより

平成31年3月29日発行
(第7号)
発行：上田中央地域協議会

ごあいさつ

日頃、上田中央地域協議会へご理解ご協力いただきありがとうございます。現在、中央地域におきましても、住民自治組織設立に向けた準備会「中央地域まちづくり検討会」や「神川地区部会」が立ち上がり、住民による新たな自治が動き出そうとしております。また、各自治会が抱える課題は多様化しており、通常の自治会運営だけでなく、空家や交通問題など、様々な課題を抱えながら日々奮闘されている状況にあると思います。

今期で第7期を迎えた当協議会では、こうした課題を踏まえ、交通問題、空家・放棄地問題、ゴミ問題の3つの地域課題をテーマに設定し、課題解決への協議、論議をしております。どの地域においても、これらの課題は避けられないものであり、普段の生活にじわじわと影響が出てくるものとして、何らかの解決策を見出せればと、委員一同真剣に取り組んでいます。様々な議論を通じて、地域の皆様のご協力を得ながら地域のために活動してまいりますので、今後ともよろしくご協力申し上げます。



会長 中澤 純一

第7期 (H30 ~ 31年度) 上田中央地域協議会の活動

地域協議会とは、条例に基づき設置された市の附属機関で、公募・個人依頼の委員、自治会や各種団体から推薦された委員(定数20人以内)で構成され、以下の役割を担っています。

- ①市からの諮問に対する答申
- ②意見聴取に応じた審議
(わがまち魅力アップ応援事業の審査など)
- ③地域課題についての調査・研究、市への提言



▲全体会議の様子

上田中央地域協議会では、平成18年の発足当初から原則毎月1回開催しており、審議や調査・研究を活発に行ってきました。市への提言については、空家対策推進や市街地循環バスの利活用促進等、これまでに計10件の提言を行うなど、より住み良い地域を目指し活動してきました。

第7期においても、3つの分科会を設け、市への提言に向けて調査・研究を行っています。詳細については、次ページをご覧ください。

中央地域における住民自治組織設立に向けた取組

第6期において時間をかけて検討を進めてきた「住民自治組織設立」については、平成29年12月に準備会組織である「中央地域まちづくり検討会」が設立され、住民自治組織設立に向けて本格的に協議が始まりました。また、検討会内には「神川地区部会」が設けられ、神川地区単独での住民自治組織設立を目指し、現在協議を進めています。

住民自治組織は、一定の区域(地域協議会、地区連単位等)を範囲とし、自治会を核としながら各種団体が参画・連携して、単一の自治会では対応が難しい地域課題(防犯・防災、地域福祉、子育て、環境整備など)の解決や、地域の特色を生かしたまちづくりに取り組む組織のことをいいます。当協議会委員も準備会に参加していることから、相互の連携を図りつつ、より良い地域となるよう、引き続き協議・検討していきます。

分科会の取組状況

※委員名は 50 音順、敬称略、◎は分科会長

交通問題分科会

高齢化に伴い、自動車の運転免許証を返納する方や自動車の運転を控える方が増えています。交通手段が限られると、移動は不便となり、結果として社会参加の機会が減ったり、閉じこもりにつながったりする可能性もあります。今後、急速に進行する人口減少や少子高齢化社会において、このような交通手段確保などの交通問題は、高齢者に限ったものではなく、多くの地域住民に関係する問題であるため、今のうちから地域としてできることを考える必要があります。

当分科会では、上田市管理課の担当職員を講師とする勉強会を開催し、上田市における公共交通の現状と課題、今後の交通施策などについて学ぶとともに、担当職員と意見交換をすることにより、公共交通に関する理解を深めました。今後も、中央地域における交通問題の解決や交通の利便性を高めるために、地域としてできることや市に対し提言すべき内容について調査・研究を行っていきます。



〈メンバー〉

岡部由紀子、谷藤 寿子、◎成澤 秀造、羽原智夏子、古川 悦子、松田 典子

空家・放棄地問題分科会



〈メンバー〉

天田かよ子、伊藤 和夫、◎小林 芳夫、志摩 充彦、中澤 純一、藤澤 祐一、柳沢 英明

少子高齢化や、人口減少等の社会情勢を背景として、中央地域においても、空家・放棄地の問題が顕在化しており、平成 28 年度の調査だけでも、地域には 609 棟の空家が存在している状況です。また、市でも「上田市空家等対策計画」が策定され、「空家等対策協議会」により特定空家等の判断基準が明確化されつつあり、これから様々な取組が行われようとしています。この問題を、中央地域においても、高齢者対策、防犯、防災、環境整備の観点から、地域全体の課題とし

てとらえていくことが必要であると考えています。

当分科会では、話し合いを重ねるとともに、現在の市の空家等の状況を学ぶために、空家等対策協議会の樋口副会長を講師にお迎えし、協議会の取組状況等についてお話を伺いました。

居住地域、商業地域が存在する中央地域の特性を踏まえながら、地域として何ができるか、行政との連携の在り方も含め、現在提言に向けて検討しています。

ゴミ問題分科会

当分科会では、“ゴミ問題”に焦点を当て、分科会を立ち上げました。中央地域では、中央市街地を中心にルール違反ごみ（分別方法・無記名等）が散見されています。こうした課題の解決には、市の取組だけではなく、地域住民一人ひとりが意識を高く持つことが重要と考えております。また、今後は少子高齢化・人口減少に拍車がかかる中で、排出困難世帯への支援等がより必要になってくることも想定されます。

こうした中、まずは上田市におけるゴミ処理の現状や補助制度を把握するために、12月に開催した分科会において上田市廃棄物対策課長をお迎えし、ご説明を受けるとともに意見交換を行いました。今後もゴミ問題について、あらゆる視点から課題や解決策を考え、有意義な提言となるよう調査・研究を進めていきます。



〈メンバー〉

◎金井 喜兵、川久保義夫、樋村 雅代、丸山理英子、望月 尚、矢島 康夫、山浦 美幸